

10年程度かけて
ゆっくりと実施

全市的に
校区の境界を調整します

箕面市では、小・中学校の新設に合わせて、その都度、校区の設定を行ってきましたが、「校区の境界が複雑で分かりにくい」「近くにある学校に通えない」などの課題が生じています。

そこで、このたび、北急延伸と周辺まちづくりの一環として船場地区への学校新設(令和9年4月開校予定)が決まり、その校区を新たに設定することを契機に、全市的に校区の境界を調整します。今回は、その内容の一部をみなさんにお知らせします。

固教育政策室 ☎724・6762 FAX724・6010

市民のみなさんとともに、
校区の調整の検討を進めています!

これまで計6回、延べ328人が参加!
今後もワークショップを開催し、
活発に議論を重ねていきます!

校区の調整に当たっては、市民のみなさんの意見を聞く機会を積極的に設けています。これまで計6回のワークショップを開催し、青少年を守る会やPTAなど地域団体のみなさん延べ328人にご参加いただき、「長期にわたって安定的な校区」とするための活発な議論をしていただいています。

このエリアは、A小学校よりB小学校の方が近いので、B小学校区にするべきだと思うのですが…。



この△D目がC小学校とD小学校に分かれているので、同じ小学校区にしたほうがいいのでは?

今後は… 引き続きワークショップを開催し、いただいた意見をまとめてパブリックコメントを実施します。また、その結果などをもとに、令和2年度に新しい校区を決定する予定です。

教えて! 新校区 Q&A

Q 新しい学校ができることで、廃校になる学校があるの?

A ありません。児童の数が年々増加傾向にあること、さらに、少人数授業や、学童保育などで使用する教室が増加し、市全体として学校施設に余裕がないことがその理由です。

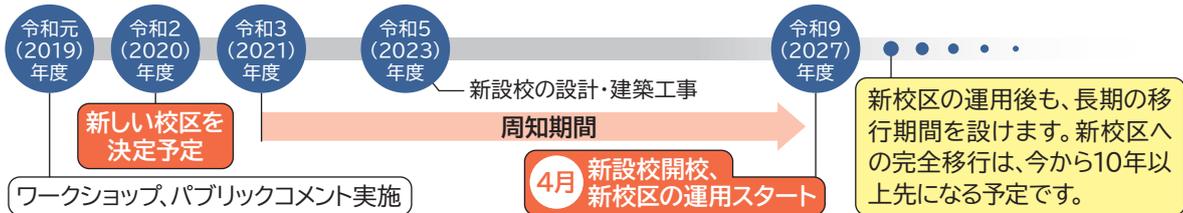
Q 校区の調整で、市民みんなが影響を受けるの?

A このたびの調整で影響を受けるのは、主に校区の境界周辺にお住まいのかたです。市民のみなさん全員に影響が及ぶものではありません。

Q 新しい校区への切り替えはすぐに行われるの?

A いいえ。新しい校区は、子どもたちや保護者、小学校区単位で活動している地域団体など、全てのかたが無理なくスムーズに対応いただけるよう、十分な周知・移行期間と経過措置を設けて、令和9年4月の運用スタートをめざしています。

10年程度かけて、ゆっくりと新しい校区に切り替えていきます!



新しい校区への切り替えで…

すぐに転校しないといけないの?
お兄ちゃんと同じ学校に行けるの?
転校のタイミングは決められるの?



そんな心配は、一切必要ありません!

- 在校生は、卒業まで旧校区へ通学することができます。
- 旧校区から新校区へいつでも転校できます。
- 兄弟姉妹が旧校区に在籍している場合は、旧校区へ入学・通学できます。
- 各地域団体の活動単位の移行時期は、団体ごとに決めることができます。

例えば 令和9年4月に新小学1年生になる、もみじちゃんの場合
新しい校区だとA小学校だけど…

もちろん大丈夫!
希望すればそのまま6年間通学できます。

お兄ちゃんのいるB小学校に行きたいな



新しい校区の検討状況について、地域説明会を実施します。申し込み不要ですので、ぜひご参加ください。

また、出張説明会(10人以上で実施)も行っていますので、詳しくは教育政策室(☎724・6762)へお電話ください。

日時	場所
6月25日(火) 午後7時~8時	西南生涯学習センター
6月27日(木) 午後7時~8時	東生涯学習センター
6月29日(土) 午後2時~3時	みのお市民活動センター